

授業科目名 <英訳>		現代社会と科学技術（政策） Science and innovation for the society			担当者所属・ 職名・氏名		医学研究科 教授 川上 浩司				
配当 学年	1回生以上	単位数	2	開講年度・ 開講期	2016・ 後期	曜時限	木3	授業 形態	実習	使用 言語	日本語及び英語
[授業の概要・目的]											
<p>本講義は、「政策のための科学」プログラムの必修科目の1つ（入門必修科目）である。 本講義は、現代社会と科学技術入門と一貫した講義であり、受講者は現代社会と科学技術入門の講義から継続した受講が必要である。</p>											
[到達目標]											
<p>「政策のための科学」プログラムにおいては、科学と社会、政策とを「つなぐ人材」の要請を目標としている。この目的のために、様々な関連トピックを取り上げて、講師からの話題提供と、それに基づいた学生間のディスカッションを行い、科学の多様性と社会、政策を考えるための端緒とする。</p>											
[授業計画と内容]											
【予定・内容】											
第1回 10月6日 ライフサイエンス研究の倫理とガバナンス (加藤:大阪大学大学院医学研究科)											
第2回 10月13日 トランス・サイエンスとParticipatory Technology Assessment (平川:大阪大学コミュニケーションデザインセンター)											
第3回 10月20日 現代民主主義のもとでの政策決定(佐野:人間・環境学研究科)											
第4回 10月27日 都市政策の立案 (御手洗:経営管理研究部)											
第5回 11月10日 データ可視化と政策立案(小山田:学術情報メディアセンター)											
第6回 11月17日 食品のリスクアナライシスとレギュラトリーサイエンス(新山:農学研究科)											
第7回 11月24日 技術の質の評価(富田:工学研究科)											
第8回 12月1日 社会的課題と情報通信技術の役割(齋藤:医療情報企画部)											
第9回 12月8日 「政策のための科学」の計量書誌学データ分析(依田:経済学研究科)											
第10回 12月15日 医療費の増加と医療技術評価(後藤:慶応大学)											
第11回 12月22日 研究の進捗確認(全教員)											
第12回 1月5日 大学の基礎研究と企業連携(小寺:工学研究科)											
第13回 2月12日 トランザクション・コストと経済政策(末松:経営管理大学院)											
第14回 1月26日 クリティカルシンキングの観点からみた科学技術と社会(伊勢田:文学研究科)											
第15回 2月2日 移植医療の社会的価値(瓜生原:同志社大学商学部)											
第16回 2月9日 振り返りワークショップ(宮野:学際融合教育研究推進センター)											
[履修要件]											
<p>本コースは現代社会と科学技術入門と一貫した講義であり、受講者は現代社会と科学技術入門の講義から継続した受講が必要である。</p>											
----- 現代社会と科学技術（政策）(2)へ続く ↓ ↓ ↓ ↓											

現代社会と科学技術（政策）(2)

[成績評価の方法・観点及び達成度]

平常点（出席を含む、50%）、レポート（50%）

[教科書]

使用しない

[参考書等]

（参考書）

授業中に紹介する

[授業外学習（予習・復習）等]

適宜予習復習を求める。

（その他（オフィスアワー等））

面談希望は必ずメールで kawakami.koji.4e@kyoto-u.ac.jpまでご連絡下さい。

※オフィスアワー実施の有無は、KULASISで確認してください。